

### ★受賞おめでとうございます★

心よりお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈りいたします。  
☆令和4年度市政功労者表彰 保健衛生功労表彰 東島 照幸 先生

### ～会長便り～

新年度を迎え、令和4年度調剤報酬改定が行われスタートしました。ここに日薬山本会長のコメントを紹介します。

「今回の調剤報酬改定、大変特徴的であろうかと思っておりますが、かかりつけ薬剤師機能の評価、あるいは薬局薬剤師業務の対物中心から対人中心への転換を進める、さらには医療におけるICTの利用やデジタル化への対応といったような論点の中心に議論をされ、今回の改定ではそうした点が十分に踏まえられた改定が行われていると考えています。(中略) これまできちんとした仕事を出来ていた皆様方にとっては、いかに調剤料が分かればよいとも、あるいは地域体制加算の要件が変わろうとも、またまたリフィルが導入されようと、薬剤師が調剤に対峙する姿勢は全く変わりません。新しい概念ではありますが、これから薬剤師が進むべき方向を示した新しい調剤報酬体系について理解して頂きたい。」と発言されています。

平和な環境で仕事ができる有難さをかみしめ今年度も業務を行ってまいりましょう。

### ～医薬分業対策(薬薬連携)委員会便り～

2022年度の調剤報酬改定では、リフィル処方箋の導入、薬剤調整料・調剤調整料・服薬管理指導料の新設等が実施されています。

今回新設された項目の中に、服薬情報等提供料3(入院予定の患者の持参薬整理)50点があります。「入院前の患者に係る医療機関の求めがあった場合において、患者の同意を得た上で、患者の服用薬の情報等について一元的に把握し、必要に応じて患者が薬局に持参した服用薬の整理を行うとともに、医療機関に必要な情報を文書により提供等した場合に3月に1回に限り算定する。これらの内容等については薬剤服用歴に記録すること。」となっております、まさに薬薬連携による服薬管理を推進する点数かと思われる。

これは改正薬機法に伴った、地域連携薬局の主な要件である、関係機関との情報共有(入院時の持参薬情報の医療機関への提供、退院時カンファレンスへの参加等)の部分を評価した点数であり、これが服薬情報等提供料3とも言えるかと思えます。

なぜこのような点数評価に繋がったと考えた時に、医療機関側の服用薬等の把握が容易になり、持参薬の確認業務負担の軽減に繋がると考えられ、医療機関側においてもメリットがあります。ただ全国的なアンケート調査では、「患者の入院時に保険薬局に対して情報提供を依頼する事がありますか。」(n=402) ある:41.5%、ない:58.5% 約6割程度が情報提供依頼を行っていないという結果になっています。↑

医薬分業委員会では薬薬連携を通じて、医療機関側が情報提供依頼をしやすい環境整備を行いたいと考えており、皆様方も積極的に服薬情報等提供料3を取りに行く取り組みをして頂ければと思います。

### ～令和4年度佐世保市環境部収集年間計画表の確認のお願い～

薬局で回収の「使用済み注射針等」に係る収集年間計画表を市薬のホームページに掲載しましたので、収集申込をされた薬局の方はご確認ください。

※収集月の変更が生じた薬局は、前月までに市薬事務所まで(FAX:24-3873)ご連絡ください。(収集日は毎月第3金曜日)

### ～佐世保中央病院・医療事務課の電話番号(FAX共通)変更のお知らせ～

現在、変更前後の2台で稼働されておりますが、しばらくすると変更後の1台の稼働となりますので、ご注意下さい。

尚、市薬ホームページの広域病院情報の連絡先は変更後の番号に更新済みです。

変更前:33-4726 → 変更後:33-7166

●新規保険薬局開設 4月1日(金)オープン  
しいの木薬局(〒858-0925 椎木町308-4)  
TEL:26-2355/FAX:26-2356

●薬局名変更・薬局移転 4月1日(金)より  
今泉薬局ときわ店(旧:今泉調剤薬局本島町店)  
(〒857-0053 常盤町4-12)  
TEL:22-3015/FAX:25-4114 ※TEL・FAX 変更なし

### 佐世保市薬剤師会 会務報告【3月】

2日	くちから食べる楽しみを支援する協議会役員会(井手)	オンライン会議
10日	生涯教育	オンライン勉強会
16日	常務会	薬国保会議室
17日	長崎労災病院令和3年度第1回がん薬薬連携勉強会 デンタルフェスティバル関係団体合同協議会(河野)	オンライン勉強会 オンライン会議
18日	佐世保県北区域地域医療構想調整会議(井手)	オンライン会議
23日	臨時理事会	薬国保会議室
25日	会営薬局運営委員会	市薬会議室